

市長室：対話の記録

要旨

開催内容の公開

対話の内容

【市長あいさつ】

【意見交換】

- ①旧神楽支所跡地について(質問)
- ②神楽3条通りの今後の拡幅整備等について
- ③中心市街地活性化と神楽地域について(質問)
- ④神楽4・5条3丁目市道拡幅整備等について
- ⑤神楽4・5条3丁目(十字街)交差点の信号機について
- ⑥買物公園の自転車の乗り入れについて
- ⑦落ち葉からつくった堆肥を地域へ還元することについて
- ⑧市からの文書の内容が難しいので分かりやすくしてほしい
- ⑨「洪水ハザードマップ」について
- ⑩高齢者にとって優しいまちづくりについて
- ⑪北彩都あさひかわ整備事業について
- ⑫クリスタルパーク前の道路に横断歩道の設置を
- ⑬神楽3条通りの雑草の除去について
- ⑭丸井今井跡地にアウトレットモールを誘致してほしい
- ⑮「道の駅あさひかわ」について
- ⑯市民委員会、町内会の今後のあり方について
- ⑰アスベスト問題に対する責任の所在について
- ⑱市本庁舎と第二庁舎を結ぶ地下通路をつくってほしい
- ⑲市庁舎内の喫煙室について

第49回目となる今回は、市内の神楽本町、神楽宮前、高野地区にお住まいの方をはじめとする市民の皆さんと懇談しました。27の方が参加し、地域特有の課題や、市政やまちづくりに対する意見など、活発な意見交換が行なわれました。



日時	平成22年5月25日(火) 午後6時30分～午後8時05分
場所	旭川市神楽公民館「木楽輪(きらりん)」(木造館)
出席者	・西川市長 ・市民(27人)

対話の内容

参加者から寄せられた意見や提言・要望と市長のあいさつ・コメント等、対話集会の内容を要約したものを掲載します。

※参加者はアルファベットで表しています。

同じアルファベットの表記は同一人であることを示しています。

【市長あいさつ】

皆さん、こんばんは。
今日は対話集会ということで、神楽地域の皆さんを中心にご案内させていただきました。あいにくの雨模様ではありますが、地域の皆様方を中心に大勢の方々にお集まりをいただきまして、本当にありがとうございます。神楽地域での開催は、2年前の7月15日に開催して以来となり、今日で2回目となりますが、約2年振りに、またこちらの地域で対話集会を開催させていただくことができました。
皆さんに日頃ご利用いただいている、こちらの市民交流センターは、支所を中心として、図書館、児童センター、公民館が移設されたものです。今日はこちらの木造館を会場として開催させていただいていますが、ここの愛称を公募いたしまして、昔農典子(せきのうのりこ)さんという方の「木楽輪(きらりん)」という愛称に決めさせていただきました。この木楽輪というのは、たくさんの方が集まって楽しめる場所というような意味だそうです。こちらは本当に音響施設がいいということで、いろいろなコンサートでも使われています。今日は対話集会ということで、こちらの会場で約1時間半、8時ぐらいまでの限られた時間ではありますが、ぜひ、皆さま方から

【市長終わりのあいさつ】

市政へのご提言をいただくことができればと思っていますので、よろしく願いいたします。

これまで、保育園や幼稚園の関係者の皆さんや障害者の団体の皆さんなど、いろいろな団体の方々との対話集会を20回行ってまいりました。また、市内各地域の皆さんとこれまで28回開催させていただいてきており、今回は49回目となります。対話集会を通じて、1,260人の方々とお会いさせていただいてきています。市長に就任して3年半が経とうとしていますが、私自身にとっても、市民の皆さんの生の声を聞ける素晴らしい機会として、大変有意義な会であると思っていますし、これまでいただいたいろいろなご意見について、できるものからひとつひとつ、市政の中で反映をさせていただいてきているところです。本日もいろいろなお話しを聞かせていただくこととなりますが、まずは若干私から、これまでの市政への反映状況などについて、この時間をお借りしてご紹介をさせていただきたいと思っております。

こちらの地域は、これから橋が架かかち、駅前地区とつながっていきます。1本目の橋が平成23年の3月、来年の春頃に最初の橋が架かる予定で、その2年後の平成25年にはもう1本橋が架かってくる予定になっています。大雪アリーナとこちらの間の道路が駅前とつながるのが平成25年となり、仮称ですが新昭和橋、来年架かるのが新永隆橋ということです。保育園の向こう側の方に小城さんという料亭がありますが、その横に、もうほとんど橋が架かっているのが、仮称新永隆橋です。バスのルートをはじめ、車や人の流れが大きく変わっていくであろうと予測しています。また、こちらの地域から、駅前、買物公園や3・6街に行きやすくなりますし、3・6街で飲んでもタクシーを使わずに、天気が良ければ歩いて帰ることができるようになるのではないかなと思います。このように神楽地区は、これから大きく発展していく可能性を秘めていますので、そういう意味においては、また地域の皆さんにもいろいろとご相談をさせていただくことがあると思います。また、「花火 in KAGURA」などの地域のお祭りも皆さんには盛り上げていただいているところであります。

地域の現状としては、高齢化率が市内の他地域に比べて少し高いということがあります。市内の全人口のうち65才以上の方が占める割合が、現在25%となっておりますが、神楽地区については、30%を超えており、約3人に1人が65才以上ということですから、少し他地域に比べて、除雪などの部分でいろいろなご苦労があるということで、除雪センター等でもそういうお話しをいただいております。そういった部分では、やはり高齢者の方が多い地区ということも十分考慮した上で、私どもも行政としての地域づくりをしていかなければいけないと考えているところであります。

これまで様々なご要望をいただいておりますが、ごみの問題が全市的に共通の話題になっています。特に賃貸のアパートについて、ごみ出しのマナーがあまり良くないというお話しをいろいろなところでいただいております。私どもも市の環境部、クリーンセンター（清掃事業所）を中心にして、そのようなマナーの悪いごみについてはしっかりと指導させていただいており、年々良くなってきているところです。有料化後、数年が経ちましたが、大分落ち着いてきているように思っていますが、これも地域の各町内の皆さま方をはじめとした、本当に地道なご努力の成果だと思っております。本当に感謝を申し上げたいと思っております。

今、旭川市では、4戸以上のアパート・マンションを建設する際には、独自のごみステーションを設置してくださいと要綱に定めておりますので、今後は、それぞれのアパートごとにごみステーションが完備されていくようになると思っております。

また、カラス対策についてもこれまで取り組んできているところですが、それぞれの町内で、ごみステーションに金属製のかごや、木製のかごを設置していただいておりますが、ネットだけの町内も結構あります。そこがカラスに狙われやすいということで、市ではベニヤで作ったカラス対策型ステーションを町内会に貸し出しているところです。そのベニヤの中にごみを入れて上にネットをかけることで、カラスのくちばしが入らないようになりますので、これも何とか定着させていきたいと思っております。もしまだ導入されていないご町内の方がいらっしゃれば、この機会に市の方にお問い合わせいただければと思っています。

また、今、パークゴルフをされる方々が非常に多くなり、市内のパークゴルフ場も多くの方にご利用いただいておりますが、しっかりと芝の管理等をしてほしいという要望を市内の多くの地域でいただいております。河川敷のパークゴルフ場では、散水施設がなく、芝を十分管理できないという問題点がありますが、河川敷は国が管理している土地なので、開発局

の許可をもらい、ボーリングをして地下水をくみ上げて、散水施設を順次整備している状況です。末広地区の秋月橋のたもとのパークゴルフ場に散水施設ができて、地域の愛好家の方々に一部管理をお願いしたり、また旭川大橋のたもとのパークゴルフ場については、地域の皆さんが9ホールから18ホールに拡張していただいたり、自主的に管理をしていただいております。このように地域の住民の方と行政との協働ということも少しずつ前進してきているという状況にもなっております。

その他、障害者の方からのご要望ですとか、学校現場のいろいろなご要望もいただいてきておりますし、私は市長就任直後に落ち葉の回収を始めたのですが、これが約3年近く経ち、全市から集めた、また皆さんからお寄せいただいた落ち葉が大分堆肥としていいものになってきており、今年度からこの堆肥を市民の方々に還元させていただくことができるようになりましたので、例えば町内会での花壇づくりや、また学校での植栽などに活用していただければと思いますので、この機会にご紹介させていただきます。

それとこれは正にこちらの地域になりますが、高野地区、今日は町内会長さんもお見えでございますが、平成18年度に浸水被害があり、その後、順次工事を今進めている最中で、排水整備については平成23年度に完了する予定です。これが完了すると高野地区の排水環境が非常に良くなり、今後、雨が降った場合にも先日くらいの雨であれば浸水被害が起こらないだろうと考えております。

また、これは神居地区からもいただいておりますが、平成大橋の4車線化についてのご要望をいただいております。橋の拡張ということになりますと、非常に多額な予算が必要となりますので、なかなか着手できない状況にあります。現在、国道237号から環状線までの区間を道道に昇格できないだろうか、道と協議をしているところです。大きな橋ですので、何とか道道に昇格していただいて、道の費用も活用させていただきながら、将来、4車線化できないだろうかと考えているところです。

それとこの機会にPRさせていただきたいのですが、火災警報器の設置が義務化されました。これについて、今、消防本部を中心にいろいろとPRさせていただいております。各町内会長さんをはじめ役員の皆さんには、大変お世話になっております。まだ旭川市内の設置率が30%と少しということですので、ぜひ、またいろいろな機会にお話をいただければなと思っています。

また、前回こちらで開催した時に、向かいの交流センターの中のコピー機が、今まで一般の方が利用できなかったということで、何とか利用できないだろうかというご要望をいただきましたが、現在、コピー機の使用目的には制限がありますが、例えば、生涯学習活動や町内会など公共の目的で使用する場合であって、著作権に抵触しないようなものであれば、すぐ向かいの建物の中にある公民館事業課のコピー機を有料で利用していただくことができることになっています。公民館や図書館を利用された際に、町内会の活動も含めて、コピーをするような用事があれば、ぜひ使っていただければと思います。

これは全市民的な話になりますが、今年はちょうど旭川市の開村120年を迎えます。120年前に旭川村と神居村と永山村の3村が開村し、神楽も当時村でしたが、その何年か後に開村しています。今はすべて合併して旭川市になっていますが、その開村120年のイベントを駅前広場から買物公園、常磐公園にかけて、9月に式典を行い、10月に食、農、それと健康というキーワードでイベントを開催する準備をしているところです。このイベントの開催時期がちょうど収穫の時期にあたりますので、市内の農産物、道北管内のいろいろな物を旭川に集めてきたいと考えています。また、旭川には海がありませんが、留萌や稚内、また紋別といった、そういった港からも参加していただいて、海産物なども駅前につくる市場で皆さんに提供させていただくようなイベントを考えています。これを機会に、私どもの地元の基幹産業である農業や、また食品関係の産業、そういったものの優位性というものをも今一度、道外や全国に発信していきたいということと、また、そのことによって私どもの地域のまちづくりや産業の活性化につながるひとつのきっかけにしていきたいと考えています。それと当然ではありますが、120年前の先人のご努力をこの機会に今一度感謝し、式典、イベント等を通じて多くの方々に知っていただければと思います。ぜひ、神楽地域の皆様、市民の方々に、この120年のイベントにご参加いただければ一緒に盛り上げていただければと思っています。

また、6月29日に市民活動交流センターが新しくオープンします。国の合同庁舎やサイパル、青少年科学館の横にレンガ造りの旧国鉄の建物があります。100年以上前に建てられたレンガの建物なのですが、歴史的な建造物でありますので、これを改修しまして、'Co Co De(ココデ)'という愛称で来月オープンいたします。NPO団体の方々やボランティア団体、もちろん町内会の活動等、こういった皆様方の活動拠点、そして協働のまちづくりのセンターとしての役割をここで担っていきたいと考えていますので、ぜひご利用いただきたいと考えているところです。

また、これからの部分では中心街地域の活性化ということも大変重要な課題になります。丸井今井が昨年、ちょうど約1年前に旭川店が閉店しましたが、これも1日も早くオープンしてもらいたいということで、私どもも頑張っているところではありますが、今いろいろと丸井今井の清算会社といろいろな会社の間で話し合いが行なわれているという段階です。引き続きこれについては1日も早く、できれば今年の10月の駅前の開村120年のイベントまでには、全館オープンまでは無理にしても、一部でもオープンすることができるように頑張っていかなければいけないと考えています。

それと先日、新聞にも載っていましたが、井上靖さんの書斎、居間や応接室、たくさんの蔵書をご遺族の方から寄贈いただくこととなり、今、春光の方にある旧借行社が、今は彫刻美術館になっていますが、その横に井上靖文学館があります。この一帯に、今、東京の世田谷にある井上靖さんの書斎などを移築する予定でいますので、ぜひ期待していただきたいと思います。

また、町内会に直接関わる部分なので、ひとつだけお話しさせていただきます。今、町内会でそれぞれ防犯灯を設置していただいていると思いますが、もし取替えの時期が来ている防犯灯があれば、今年から省電力のLED灯に換える場合に、市の助成があります。LEDは、省エネ灯ということで、電球の何倍も寿命がありますし、電気代も何分の1ということで、長い目でみると非常に経済的です。私どもも10年程かけて、市内の全ての防犯灯をLED灯に切り替えていきたいと考えていますので、取替えの時期にあるご町内があれば、ぜひ市の方にお問い合わせをいただきたいと思います。

以上、少しお時間をいただきまして、この機会に若干市政のご報告をさせていただきました。その他にもお話ししたいことがいろいろとありますが、この後は皆さんからいろいろとまたお話を聞かせていただきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

【意見交換】

①旧神楽支所跡地について

参加者A

旧神楽支所の跡地を売却するという話を聞いていますが、市長としてはこの土地をどうにかたちにしたいと思っているのでしょうか。

市長

旧神楽支所の跡地については、解体工事が終了して更地になっており、今年の秋頃に売却する予定です。どこに売却されるのかは、その時までわかりませんが、先に情報が入ることもないでしょうが、神楽地域の活性化につながるようなものになってほしいという期待は持っています。

②神楽3条通りの今後の拡幅整備等について

参加者A

神楽3条通りについて、現在、クリスタルホールの辺りまで拡幅されていますが、今後も継続して拡幅の工事を行う予定があるのでしょうか。

市長

拡幅についてですが、土木担当の職員が来ておらず正確な話ができませんので、後日、ご連絡させていただきたいと思います。

参加者F

神楽3条通りは6丁目までは拡幅され、しっかりと除雪もされています。しかし、5丁目、4丁目については、生活道路ということで除雪があまりされていません。また、車は拡幅された道路から真っ直ぐ狭いこの道路を通り抜けていきます。ここには保育園や病院があり、子どもやお年寄りにとっても歩道がなくて本当に危険な状態です。少しでも早く拡幅整備を行っていただきたいと思っていますし、または歩道をつくるなどの対策をしていただきたいと思います。

市長

わかりました。是非検討してみたいと思います。

③中心市街地活性化と神楽地域について

参加者A

中心市街地の活性化について、神楽地域の方もこの対象となると聞いていますが、そうなるかどうかという利点があるのでしょうか。

市長

中心市街地活性化の区域に編入させていただくことについては、まだ国の認可を受けてませんので、最終的にどうなるか分かりませんが、例えば神楽地域に活性化につながるような新たな公共施設などを建てる際に、国からの補助金を得ることができるというようなメリットがあります。こちらの地域は大雪アリーナや地場産センター、支所もありますし、今度、橋が架かると中心街と近くなりますことから、そういうメリットを生み出せないかということで、今、国と協議しているところです。

④神楽4・5条3丁目市道拡幅整備等について

参加者B

神楽4条3丁目と神楽5条3丁目間の道道につながる市道について、通学路になっていますが、道道からの車の出入りも多く、子供たちが通行するには、非常に危険な箇所となっています。特に冬は除雪の関係で更に道幅が狭くなり、ほとんど通れないような状態です。大きな事故が起きないうちに、道路を拡幅するなどの対策を考える必要があると思います。

市長

神楽4条、5条3丁目の市道につきましては、危険箇所としての認識を持っております。非常に狭い道路ですので、もし拡幅するとなると、用地買収をして、周辺の建物を解体して道路を拡幅することになりますが、そうすると、住まれている方もおりますので、なかなか難しいことがあります。ですから、例えば片側だけでも歩道をつくり、車道の部分の幅員は少し狭くなってしまいますが、そのような対応ができないかということも今検討しているところです。まだ結論には至っておりませんが非常に危険な箇所という認識は持っていますので、地域の方も、どのような方法が一番良いのか協議させていただきたいと考えています。

⑤神楽4・5条3丁目(十字街)交差点の信号機について

参加者C

神楽4条3丁目と神楽5条3丁目交差点の市道側の信号機について、青信号の時間が短く、通勤の時間帯には国道に出ようとする車何台も連なって渋滞となります。通学路ですので、子ども達にとっても非常に危険です。私たちが腕章をつけて見守りをしていますが、この交差点の信号機は何かならないでしょうか。青信号の時間をもう少し長くして、車がスムーズに流れるようにしていただきたいと思います。

市長

市道側から国道や道道に出て行く時に渋滞になるということですね。信号機の赤の時間が長く、青の時間が短いからだとのことですが、私も、信号機の増設の願いや、そのような間隔のお願いなどのご要望をいただき、これを所管している公安委員会の方へお願いしていま

すが、なかなか簡単にはいかないのが現状です。また今後ともお願いをしていきたいと思いをします。

⑥買物公園の自転車の乗り入れについて

参加者B

買物公園は自転車の乗り入れが禁止されていますが、実際にはたくさんの自転車の乗り入れがあり、歩行者天国という本来の姿ではなくなっています。自転車の乗り入れを何とか減らす、無くす対策をして、過ごしやすい買物公園にしてほしいと思います。

市長

買物公園の自転車の乗り入れについてですが、マナーの悪い方、非常に危険な走行をしている方が未だに見受けられるものですから、何らかの対策をとらなければいけないと考えています。特に4条以北で自転車に乗っている人が非常に多い状況です。歩行者が少ないということもあるのですが、1条から3条の間でも乗ってる人がいますので、歩行者にとって非常に危険に感じる場合もあります。これについては今一度、良い方法がないか考えていきたいと思っています。

⑦落ち葉からつくった堆肥を地域へ還元することについてなど

参加者C

商工会や市民委員会で国道237号線沿いにハーブを植えています。これまでは開発局からの補助を受けていましたが、今年度からは予算がないということで、肥料もありません。開発局と来年に向けた話し合いをしているところですが、堆肥などを市の方からいただくことはできないでしょうか。国道沿いはだめでしょうか。

市長

堆肥につきましては、町内会など地域の皆さんで花壇づくりなどをさせていただいてるということであれば、国道沿いだからだめだということは特になくと思います。是非、市でつくった堆肥をご利用いただきたいと思いますので、公園みどり課の方へお問い合わせください。

参加者E

国道237号線の植栽は「花人街道」といまして、富良野まで花の道をつくろうという北海道開発局の企画です。市民委員会の女性部が担当して、地域の方々の協力をお願いして、もう何年も草取りなどを行っているところです。このように、私たちとしては、地域力を活かして、行政に頼るのではなく、私たち地域人が美しい環境をつくっていくということも大事だと思っています。

⑧市からの文書の内容が難しいので、分かりやすくしてほしい

参加者D

市から来る文書は内容が難しいものが多いです。特に高齢者に配布する介護高齢化課からの文書は本当に難しいと思います。義理の母が1人暮らししており、いつも何が書いてあるのかと、私に尋ねてきますが、私にも分かりません。もう少し優しい、分かりやすい内容にしてください。

市長

市役所からの文書が少し難しいというのは、以後気を付けないといけないと思います。

⑨「洪水ハザードマップ」について

参加者D

消防の方から「洪水ハザードマップ」について説明を受けましたが、その内容が実情に合っていないと思います。高野地区は、洪水時には、神楽岡地区センターに避難することになってい

ますが、神楽中学校の方が近いです。洪水時に900mも離れた遠いところまでどうやって逃げればいいのか。実状に合ったハザードマップに修正すべきです。

市長

ハザードマップについては、私からも消防の方へそちらに伺って改めて説明するように話をしておきます。

それぞれ住んでる場所によって避難所が違いますが、洪水時の高野地区の避難所は神楽岡地区センターということになっているということですね。

忠和地区もそうですが、ここの地域は非常に土地が低く、ここの先で川が全部合流してますから、逆流してきて浸水しやすい地区になります。2時間前、3時間前から開発局のカメラが市内のいたる所の川の深さを測っており、市の消防本部にもリアルタイムで情報がくるようになっておりますので、危ないということになれば、数時間前からその地域の皆さんに避難勧告を出し、お年寄りの方にも十分余裕をもって避難をしていただけることができるようなシナリオを考えているところです。しかしながら、災害時には何があるかわかりません。皆さんも日頃からもしここでこうなったらどこに行き、どういう経路で行ったらいいたろかということ、頭の隅においていただきたいと思います。雨が降ってすぐ浸水するというわけではありませんが、1時間でも2時間でも早くお知らせしていきたいと思っています。

⑩高齢者にとって優しいまちづくりについて

参加者D

旭川市は高齢者の割合が高く、全人口の25%になっています。私は東川や東神楽、鷹栖のパークゴルフ場によく行きますが、旭川市民で溢れ返っています。河川敷に草だらけのものをつくることはしないで、駅側にパークゴルフ場をつくってはどうかとずっと提案してきています。パークゴルフ場を例に挙げましたが、高齢者だから遊ばせればいいということではありません。働く場など高齢者が活躍する場が必要だと思います。高齢者が活躍できる、楽しめる、それから働くこともできる、「高齢者に優しいまち、旭川」、そういうまちづくりを是非市長にお願いしたいと思っています。

市長

高齢者の方にどうやってもっともっと楽しんでいただけるかということは大事なことだと思っています。私もまた高齢者の皆さま方のご意見を聞きながら、是非そういったまちづくりを進めていきたいと思っています。パークゴルフをしない方もたくさんいるでしょうし、そういう方々の憩いの場というのももっともっと増やしていけるように取り組んでいきたいと思っています。

健康な高齢者の方にお仕事をしていただくことはとてもいい事です。70歳くらいでも働いての方がたくさんいますが、もっともっと活躍していただけるように、そういう場をつくるということは大事です。これも旭川市だけの問題ではなく、全国的な問題でもあります。

このままでいくと日本人の約45%は65歳以上になります。私が65歳になる時には、日本人の約半分が65歳以上になるのです。日本人の半分が年金を受給し始めるとすると、65歳ではもう絶対年金もらえないと思います。多分、私の時は70歳以上にならなければ年金もらえないと覚悟しておいた方がいいと思っていますが、それまでの間、働いていなければ食べていけないですね。やはり70歳くらいまで仕事ができる様な環境をつくらなければ、このままでいくと日本は大変なことになりますので、今からしっかりとそういう体制をつくっていかないとはいけません。

⑪北彩都あさひかわ整備事業について

参加者E

北彩都あさひかわ整備事業によって、新永隆橋や昭和橋が架かり、近隣に住んでる私の町内の生活環境も変わることを楽しみにしています。

忠別川の河畔の自然空間を生かした緑地帯の整備、宮前公園の造成などが計画されていますが、この環境をウォーキングやジョギングコース、散歩道として活用したり、宮前公園や神楽

岡公園に至るサイクリングコースとしても利用され、健康づくりや癒しに最適な環境として、私たちも積極的に利用していきたいと思っています。

橋ができると、高齢者にとって、買物公園、銀座通商店街へ徒歩や自転車で行けるようになり、病院や銀行へ行くのにもとても便利になります。このように、高齢者にとって便利な、また楽しめる駅裏の開発をお願いしたいと思っています。

⑫クリスタルパーク前の道路に横断歩道の設置を

参加者E

クリスタルパークという公園がありますが、道路を挟んで向かい側には住宅がたくさんあり、子どもたちもたくさんおられます。その道路に横断歩道を設置していただきたいと思います。お年寄りが散歩して公園に来ることもありますし、また橋ができますと交通量も増えてきます。公安委員会に呼びかけていただき、早急に横断歩道を付けていただきたいと思います。

⑬神楽3条通りの雑草の除去について

参加者E

神楽3条通りですが、拡幅整備をしていただき、立派な植栽帯もできました。その植栽帯の草取り、ごみ拾いを地域の一斉清掃日に地域住民の手で行っていますが、神社からおりてきたところの植栽帯のきわや歩道に、タンポポなどの雑草がたくさん生えています。春に業者が来て、植栽帯の草取りや整備をしていましたが、これらの雑草はそのままにしています。植栽帯の整備をする時にあわせて雑草を刈るなどしていただけたらと思います。

市長

横断歩道、草刈り等についてお話しをいただきましたが、対応できるものについては対応していきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

⑭丸井今井跡地にアウトレットモールを誘致してほしい

参加者G

近年、千歳市や北広島市にアウトレットモールがオープンし大変好評です。なぜ旭川にこれらのアウトレットモールを誘致することができなかったのでしょうか。人口が減っていている状況では、税収も上がりませんし、不景気の中、法人税も当然減ってきていますから、財政状況も大変だと思います。いかにして税収を増やしていくかということを考えるべきです。是非、丸井今井の跡地には、アウトレットモールを誘致してほしいと思います。

市長

アウトレットは非常に今、人気がありますので、これを旭川に誘致することができれば、すばらしいことだと思っています。千歳や北広島に進出した理由は、千歳空港は年間約2,500万人が乗降しますので、その人たちをターゲットとして展開しているということと、やはり札幌圏の250万人を商圈として考えているというのが、そこに立地した1番の理由だと思います。現状では、旭川空港は千歳空港の25分の1の乗降客しかなく、住んでいる人も少ないですから、多分、同じ土俵で誘致しても、やはり向こうに取っていかれてしまいます。では、どうやってこっちの方に誘致することができるかというのは、やはり別の視点から、旭川に来てもらうということをしかりと説明していかなければ、なかなか簡単には誘致できないと思っています。ただ、私もこういうものができるといいなと思っていますので、ぜひ頑張っていきたいと思っています。

⑮「道の駅あさひかわ」について

参加者G

全国各地の道の駅がそれぞれ創意工夫をして、大変繁盛していますが、旭川の道の駅は、どこにあるのかすら分からない状態ですし、何時行っても閑散としており、地場産センターで何か

催し物がある時にも、道の駅の方へはお客さんは寄っていきません。他の道の駅では、朝の6時頃から地域の住民が、自分たちのところで作った農作物や加工品などを販売していたり、また食堂ではそれぞれが特徴のある物を出したりしています。36万都市にふさわしい旭川の道の駅として、もう少し工夫してはどうでしょうか。つくったからいいということではなく、何とか道の駅自体にも収益がでるように、より多くの観光客に寄ってもらえるような創意工夫をお願いします。

市長

道の駅については、たくさんの方からそういうお話をいただいております。これから橋ができると、交通量がかなり増えてきますので、場所的には目立ちやすくなると思っておりますが、より多くの人に来てもらうためにどうしたらよいかについては、これまでもいろいろと知恵を絞ってきているところなんです。ひとつは食堂について、やはり旭川らしい食べ物を出してほしいということで、「旭川食堂」という食堂に変わりました。売上げは以前に比べ増えていると聞いていますが、もっとも工夫の余地があると思います。お土産屋さんもどういふものを並べたら、もっとお客さんに来てもらうことができるのかということをやはり真剣に考えなければいけないのかなと思っております。まずはそのようなことが大事なのかなと思っております。

また、旭川は35万人も住んでいますので、民間のお土産屋さんやレストランもたくさんあります。村や町ではそういったものが少ないので、地元商工会や行政が町おこしとして、町をあげて道の駅をつくり集客するということに取り組んでいます。旭川は他に土産屋さんもあるところもたくさんあるということで、逆に今まであまり力を入れてこなかったという経緯も事実としてあるのかなとは思いますが、道の駅にはランドマーク、まちの象徴という役割もありますので、私どもも大事なものだという認識は持っています。これからも魅力を上げるために、どう取り組んでいけばいいか研究していきたいと思っております。

その他に、例えば国道12号線の台場の入り口や、国道39号線などの大きな幹線沿いの目立つ場所に道の駅をつくるのはどうかというお話もあります。また、行政がそれを運営していくべきなのか、民間でやっていくべきなのかということもありますので、そういったことも含めて検討していきたいと思っております。

⑩市民委員会、町内会の今後のあり方について

参加者H

市民委員会や町内会の今後の活動のあり方などについて、これから検討していかなければならないと思っております。市民委員会や町内会の役員が高齢化し、また役員を引き受ける人がいなくなってきました。市民委員会の中でも、町内会の数を減らして、役員も減らすなど、町内会の再編成を含めて市民委員会のあり方を検討しなければいけないのではないかなという話をしています。

市民委員会も町内会も、行政の下請け機関のようになってるのではないのでしょうか。本来行政で行うべき事を、町内会や市民委員会に持ってくるようになってきているようです。そういう状況だということについての問題意識を持ちながら、今後、市民委員会や町内会がどうあるべきか検討すべきだと思っております。

市長

町内会等の役員を引き受けてくださる方がいないということについては、全市的な問題だと思っております。特に今、高齢化してこれからの人材を役員としてどう育てていくかというのは本当に大きな課題だと思っております。私どもも一緒に頑張っていきたいと思っております。

また、市からのいろいろなお願い事により、負担が増えているということにつきましては、私どもも一つ一つの内容を精査して、あまり町内会の皆さんの負担が増えるようなことがないように、十分注意していかなければならないと思っております。

町内会、市民委員会の皆さま方には、これまでもいろいろと本当にお世話になっております。改めて感謝を申し上げたいと思っております。引き続き今後ともよろしく申し上げます。

⑪アスベスト問題に対する責任の所在について

参加者I

アスベスト問題について、現市長が責任を取るのをおかしいと思います。
この問題の発端は、何十年前の市長の時代です。どうして今の市長が責任を取るのでしょうか。

市長

アスベストの件につきましては、過去に工事をした時にはアスベストは発見されず、今回の再調査で発見されたものですから、しばらくの間、市民文化会館を閉館しなければいけないという事態になってしまいました。そのことによって市民の皆さんにご不便をかけ、またご迷惑をおかけしたということで、私自身の減給ということにさせていただきました。

当時の市長等に責任を取ってもらうべきという話もありますが、行政というものはずっと継続しているものであり、当時の課長や部長も退職していますし、市長もいないですから、現在の市長である私や今の担当の職員がしっかりと対応することは間違っていないと思っています。

⑫市本庁舎と第二庁舎を結ぶ地下通路をつくってほしい

参加者I

市の本庁舎と第二庁舎とを行き来する時に信号を渡りますが、この待ち時間は無駄な時間だと思いますので、本庁舎と第二庁舎を結ぶ地下通路をつくってははどうでしょうか。市民も利用しやすくなると思います。

市長

本庁舎と第二庁舎を結ぶ地下通路については、アイデアとして素晴らしいなと思います。本庁舎も築後50年を越え、第二庁舎や第三庁舎もいつまで保つのかと考えた場合に、10年先か15年先になるのか分かりませんが、いずれ建替えをしなければならない時期が来ます。そうすると庁舎の建設にかなりのお金が必要となりますから、さらに地下通路をつくるということまで、なかなか踏み切れないかなとは思っています。

⑬市庁舎内の喫煙室について

参加者I

喫煙所が本庁舎の6階に設けられていますが、職員がたばこを吸うために他の階から上って来たり、下りて来たりしており、この時間は無駄です。また、たばこは体によくないということを保健所で言っているのに、喫煙所を市の庁舎に設けているのをおかしいと思います。

市長

喫煙室については、本庁舎には2階と6階にあります。2階については、向かい側に応接室があることや出入りする時に煙が外に漏れるということ、また市民の皆さんからの臭いが漏れるという苦情もあり、勤務時間内は閉鎖しています。先日、厚生労働省から今後原則として、医療機関や公共施設に関しては禁煙とするべきであるという指針が出されました。強制力はありませんが、今後、全国的にそういう流れを無視できないようになってくると思います。しかし一方では、たばこを吸う人も未だに4割近くおられますし、来庁される市民の中にもたばこを吸われる方がいらっしゃいますから、そういった方々を全て締め出していいののかどうかということも、考えなければいけないと思っています。今後、国の動きも踏まえながら、人に迷惑をかけないようにやってきたいと思っています。

【市長終わりのあいさつ】

皆さん、今日はありがとうございました。

今日もまたいろいろと地域に関するご意見から、旭川市全体に対してのいろいろな問題点や皆さま方の思いも聞かせていただきました。私もまた気持ちを新たに、明日から頑張ってもらい

たいと思っているところです。いろいろと細かいお話もいただいております。大きな話はもちろん大事でありますし、それぞれ身近な生活に直結する細かいお話も行政として重要なことだと思っておりますので、これについてもしっかりと対応していくことと、また返事を返さなければいけない部分については、お返ししていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

それでは遅くなりましたが、皆さん気を付けてお帰りください。今日は本当にありがとうございました。